

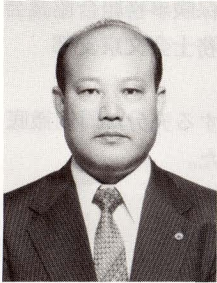
東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒102 東京都千代田区富士見2-4-9-503 スカイマンション 長森労務管理事務所
東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 TEL 03(263)7938 発行人 新堀 英行

新年のご挨拶

支部長 新堀 英行



新年明けまして、おめでとうございます。
みなさま方には、益々
ご壮健にて新春を迎え
られたことと心よりお
慶び申し上げます。

昨年は、多くの関係
法令の改正が行われ、
東京都社会保険労務士

会および、各支部とも研修をはじめとして、
もり沢山の事業を実施してまいりました。当
支部におきましても、役員の方々並びに、会
員のみなさま方の多大なご協力をいただき、
当初の事業計画どおり順調に、支部事業を行
ってまいりましたことを、ここに厚くお礼申
し上げます。

さて、迎える61年は、景気の停滞が伝えら
れ、きびしい予想のもとに始まりましたが、
私達社会保険労務士にとりましては意義ある
大事な年になることと思われます。

一つに、社会保険労務士法の三次改正が予
定されております。前改正時に積み残された
代理権をはじめとする諸問題、企業内等社労
士の位置づけ等、私たち社労士の地位の向上
をめざして着々と準備が進められております。
その成立を目指して、全会員が一丸となって
あたるとともに、会員みなさまの、一層のご
理解と、絶大なるご協力をお願いする次第で

す。また、東京都社会保険労務士政治連盟へ
も全会員が積極的にご参加いただき、改正法
の成立を支援するとともに、その成果を分か
ちあいたいものです。

二つには、昨年改正の行われた社労士関連
の各法が、今年度は施行されます。年金各法
の抜本改正にはじまり、男女雇用機会均等法、
労働者派遣事業法の新設等、軒なみ本年4
月以降に施行されます。これほど多くの関係
法令の改正が一年に集中したことは過去に例
を見ないことであり、私たち社労士は、その
道の専門家としていち早く、その内容を把握
し、対応していかなければならないと考えま
す。

三つには、OA化、ME化の急速に進む中
で、社会環境も益々変化していくことが予想
されます。これに伴い、そのニーズもより高
度に、また多様化してくるものと思われます。
このように目まぐるしく変る実情に即応した
指導を当然求められることとなるでしょう。
以上どの面を見ても、専門家として一層の研
鑽と、いかなる変化にも対応できる体質の強
化が要請されるようになって考えられます。
当支部といたしましても、これらの点をふま
えて、会員のみなさまの役に立つような、運
営を心掛ける所存でありますので、本年もよ
ろしくご協力賜りますようお願い申し上げ
ます。

第3・四半期事業結果報告

総務委員会

1. 研修旅行会

日 時 昭和60年10月11日(金)～12日(土)
場 所 伊東温泉 ホテル緑風園 参加人員 30名
研 修 「新しい年金制度について」
講 師 情報処理産業厚生年金基金
常務理事 古 川 泰一郎氏

2. 関係行政との懇談会

日 時 昭和60年11月11日(月)
場 所 東京都飯田橋庁舎
＜出 席＞
飯田橋公共職業安定所 中央労政事務所
中央労働基準監督署 飯田橋労働保険事務組合協議会
飯田橋労働基準監督署 社会保険労務士会文京支部

例年通り、支部からは新堀支部長、長森、 ○ その他
永島、相馬副支部長が出席され、 について支部会員に対する充分な周知徹底

- 雇用保険適用促進月間について と、協力を要請されました。
- 雇用保険不正受給防止月間について

3. 社会保険事務所長より感謝状受賞（本年度受賞該当者）

神田社会保険事務所管内 北 島 康 司
日本橋社会保険事務所管内 吉 本 伊太郎 （順不同敬称略）

4. 労働保険説明会

会 場 千代田区大手町1－3－1
大手町合同庁舎1号館4F
中央労働基準監督署 会議室

第17回 昭和60年10月1日(火) 会員出席 長谷川徹、中尾幸村

講 師 中央労働基準監督署 森 峯子氏 出席事業所 12

会員出席 森 才一、村上浩之

出席事業所 12

第19回 昭和60年12月3日(火)

講 師 中央労働基準監督署 村上 敏氏

会員出席 新堀英行、雨宮 功

第18回 昭和60年11月6日(水)

講 師 中央労働基準監督署 宮川幸政氏

出席事業所 14 （順不同敬称略）

会員異動状況（60. 10. 31現在）

	60. 3. 1 現在			増 減			現 在 数		
	開 業	非開業	計	開 業	非開業	計	開 業	非開業	計
麴 町	30	153	183	3	△ 6	△ 3	33	147	180
神 田	59	141	200	△ 4	△ 3	△ 7	55	138	193
日本橋	27	120	147	2	1	3	29	121	150
京 橋	44	104	148	△ 3	△ 1	△ 4	41	103	144
合 計	160	518	678	△ 2	△ 9	△ 11	158	509	667

楽しかった研修旅行

厚生委員会



当支部恒例の行事である秋の研修旅行会が、さる10月11、12日の両日会員30人の参加のもと、伊東のホテル緑風園で開催されました。

今回のテーマとしては「新しい年金制度について」で、講師は部内から

情報処理産業厚生年金基金の常務理事である古川泰一郎氏をお願いいたしました。

研修時間2時間（2時半から4時半まで）の設定は、企画者としては多少長すぎたのではないかと、ダレはしないかと内心気を揉んでいたのですが、どうしてどうして古川氏のユニークで、ユーモアあふれる名解説で、微に入り細にわたってその内容は、普通のおかしい事務説明会ではちょっと聞けないような事柄まで、大いに会員を満足させました。

研修会終了後は6時から懇親会に入って、飲み放題のサービスに楽しく飲み、且つ語り、果てはカラオケにのって、歌いまくるという賑やかさでした。なかにはお一人で、マイクを握ってはなさなかった人もいたようです。さて、お後はおきまりの二次会で、昼間



の研修会場変じてクラブとなり、あまたの美女を侍らせてまたまた飲み放題（但し費用は各自負担）、それにカラオケにカラーの映像まで飛び出してくるというレーザーディスクが映し出す情景が、またデュエットのお二人にぴったりで、まるでメロドラマのヒーローとヒロインのよう。何やら、あやしいまでに妖艶な気分に乗っての熱唱に拍手喝采鳴り止まず、本当に楽しい一夜を過ごしました。明けて翌12日は、朝食後解散ということで、幸い素晴らしい好天に恵まれて、思い思いに中には女性会員と連れだち、附近の景勝めぐりに向われた方もあったのではないのでしょうか。

旅館の料理、サービスもまあまあで、研修会の内容を含めて会員の皆さまにはきつとご満足いただけたものと思います。また、会計の面でも、ほぼ収支相償いまして、支部からの支出を仰がないで済みましたことも、ご報告申し上げます。

最後に企画者側として、もっと、こうすればよかったとか、あゝもしておけばよかったと、今頃になって反省しきりです。来年のことをいうと、鬼が笑うかも知れませんが、この次はもっとうまい企画と、趣向を凝らしてみたいと思っています。



第1部会例会

広報委員会

昨年11月8日、区立産業会館で第1部会の月例会がありました。その席で、開業間もない会員が役所の窓口で苦労しているとの話が出ました。当支部としても、そのような会員の方に、何か手助けができないだろうかということになり、小口会員を中心として、具体

的な人選その他を決めることになりました。

例会には、第2部会の方も出席して欲しいと呼びかけていますので、知っている会員もあるでしょうが、下記にご連絡下さい。

小口隆明会員 TEL(532) 1534



赤ちょうちんの
お店の片付け
おんなの心に
帰ってほしいの
あなたなしでは

60年11月3日（文化
の日）付、日本経済新聞
に掲載された『マイ・
演歌、マイ・レコード』
を参考になにか書けと
のこと、恥を掻くのは
慣れてるので、雑文を。
『霧しぐれ』第三節

胡舟啓吾曲 千葉市
灯を消して
ひとりする
哭く霧笛
この命
生きてゆけない
ああ 霧しぐれ

この歌詞は記事にもある通り、山口瞳先生
の『居酒屋兆治』の第一節、霧しぐれを参考
に、その8ページの『5時になると縄のれん
をさげ、赤ちょうちんに灯を入れることにな
っている。』を引用、

第一節 赤ちょうちんに 灯を入れて

第二節 赤ちょうちんも 泣きました

第三節は前述の通り、灯を消してと頭を決め、
主人公は女、舞台は港町としました。

レコード化するとき、作曲者より第三節の
『片付け』は歌謡詞になじまないと、変更の
要求がありました。私が、たまたに飲みにゆ
く店のママを、観察して書いたものなので、
その哀感が失なわれると感じ、断りました。
もっとも、その後どの店に行っても、この店
がモデルと悪さをしています。

『気になる銀座』 第三節

男 シャレテルセンス いい女

女 約束今夜は 送ってね

男 男のこころを 擦ぐって

女 だってあなたに 酔いたい

二人 妖しい銀座で いい気になって

ふたりのグラスが キラキラ燃える

ルラルラ銀座 好きよ銀座

この詞は、59年12月頃フジ企画よりハメ込
みを依頼された四曲のひとつです。これと

『ネオン小島は離れ島』の二曲は、著作権譲
渡の申し出があり契約しました。また私も好
きな曲なので銀座のスナックで、いい気にな
って歌ってます。

59年夏、以前NHKテレビ『あなたのメロ
ディー』の編曲をしていた、小山内たけとも
先生のご協力（編曲）を得て、私の喉に合う
四曲のカラオケ・テープを作りました。

『やきとり酒場』作曲 小山内たけとも
『夜に流れて』 “ 坂本政則 鹿児島市
『夫婦節』 “ 浅野恒彦 仙台市
『九十九峠』 “ 内藤純一 藤枝市

このうちの『やきとり酒場』第一節

親の意見と 冷や酒は
後で効くのさ どうしたあんた
浮かぬ顔して やきとり酒場
ツクネ、ハツ、 タン焼けごろ美味い
俺の熱燗 受けてくれ

この曲は、九州都城市では、保育園の園児
の遊戯曲に、川崎市のあるカラオケ・教室で
は、カラオケ賛歌に化けているそうです。

最後に『舫い船』これは、『霧しぐれ』の
作曲者、胡舟さんから、五音詞で最後の行は
七音詞、題名も指定依頼で書いたものです。

1. さすらいの霧が降る 港町船溜り
肩寄せて浮き沈む 道連れの舫い船
昨日まで西東 呼びあった命なら
この手離すな（離すな）またはぐれるよ
2. 還らない年月を 忘れても探してた
さいはてのあの港 綱切れた舫い船
見捨てられ泣きながら 流される寒い海
沖に消えてく（消えてく）哀しさ見たよ
3. さりげなく忍ぶ霧 すすり泣く倅わせの
めぐり逢いこの港 夢ゆらり舫い船
離れない離さない 疲れたらこの胸に
抱いてやるから（やるから）眠っていいよ

この歌詞は同人誌にも発表して、四人の作
曲を戴き、私自身もこの歌詞に惚れているの
で、いつの日かモノにしたいと思ってます。

五十才を過ぎると『お釣りの人生』。好き
な道楽をして『実年バンザイ』。

事業所巡り(3)

ソウマ労務管理事務所 千代田区神田淡路町 2-13-4
セントラルお茶の水ビル



この事務所に移って
から満7年、なんとか
やっています。

ところは、国電お茶
の水駅聖橋口から歩い
て3分、又は地下鉄丸
の内線淡路町駅から歩
いて3分、おとなりが
千代田区立淡路小学校

で、近くには異国情緒のニコライ堂、そして
湯島聖堂、神田明神など江戸情緒を今に残す
代表的施設が多く、四季折々の風物は、我々
を楽しませてくれます。そのハズレに位置す
る神田郵便局前的大通りを一步入った大通り
なので、とても静かです。

でも最近は、大規模ビルの建設がすゝみ環
境の悪化が心配されます。

当事務所は、その中で踏張っている小さな

7階建の中の4階です。室内は3面採光の明
るい事務室なので、日中は暖房を必要としな
いくらいで、貧乏世帯には助かります。

職員は、男子3名、女子3名、全員が独身
で、美男美女(?)で構成しています。

コンピューターの導入に夢を託したのは、
今から10年前の昭和50年7月で、万能説を無
残にこわされたのが半年後、以来問題児をか
かえたオヤジは、不詳の児に悩み苦しんでい
ます。でも我が児を捨てもならず、61年1月
からの稼動をめざして、5台目のオフコンと
悪戦苦闘しています。



事業所巡り(4)

清水社会保険労務士事務所 千代田区飯田橋 2-16-9
東亜販売株式会社社内



国電飯田橋駅から九
段下に向って歩いて7
分の処に位置している、
ビルの1角に事務所が
あります。「仕事は自
ら創るべきで、与えら
れるべきでない」を信
条として仕事をやって
いますが、次から次へ

と移り行く世相に遅れを取らないように努力
をしています。

労働保険の指導員に推薦され、㊦カードで
苦労した思い出や、算定基礎屈の相談コー
ナーでのふれあい等は、企業内だけの経験しか
ないものにとっては、血となり肉となった感
じがします。先日雇用保険の集合監査が安定
所であり、自信を以て出席しました。会場で
年間賃金集計を電卓でやっていましたが、ソ
ロバン育ちの吾々は考えさせられます。

労務管理の1環として、「バイオリズム」
を勉強しています。「バイオリズム表」は、
身体の天気図といわれている位で、身心の事
故を防ぐための予知(起きるのではなく起き
る可能性)をリズムの上から図で示すもので
す。ポケットコンピューターを使って画き、
欲しい人に配付しています。工場などで事故
があると直ぐ、その人のリズム表を書いて判
断しています。事前ばかりでなく、事後でも
その人のリズムが、その日はどのような
かが書ける処によさがあるのです。興味のある
方にはいつでも差し上げますから、生年月
日をおきかせ下さい。そして健康で、快適な
生活を楽しみましょう。



南米見聞記

金 綱 久 夫

昨年11月、連合会の南米視察旅行に参加しました。添乗員を含めて17名で、支部からは石原さんも一緒でした。成田からブラジル航空に乗りますと、長森さんの従妹という美人がスチュワーデスをしていました。

ペルーでは、リマ市内を観光した後、標高3400mのクスコに行きました。高地のため軽い頭痛をうったえた者もいました。それよりも、街全体の異様なにおいに皆、なやみました。高原列車で、インカ帝国の空中都市マチュピチュの遺跡を見に行きましたが、石ばかりの山中に、よくもこんな城を築いたものと感じ、又、滅ぼされた者への哀感を覚えました。

ブラジルでは、最初、リオデジャネイロに行きました。コパカバーナの海岸には、世界の美女がみんな細い紐の様な水着で甲羅干しをしていました。私も水着になって、メガネとランニングを近くの監視台の側に置いて、遠くの方まで美女を眺めに行きました。然し、戻ると、その目印の監視台が無くなっており、ホテルカードを持って出なかったものですから、ホテル名を忘れてしまい、いくら探してもみつからず、夕方になり冷えてきて、又足は石畳を何回も歩くため、かかとがすりむけてくるはで、本当に困りました。警官に聞いても英語は通じず、やっと英語の通じるホテルマンに会っても、私の行く所はどこでしょうでは話になりません。中華料理店では、多少日本語の分る者がいるかも知れないと思い、そこを見つけて、「キャン・ユー・スピークイングリッシュ」とやりますと、「貴方、日本人？」という答えが返ってきました。大阪から来ているという店員でした。地獄に仏とはこの事と、いろいろ手配をしてもらっているうちに、「ほら、前を日本人が通りますよ。」と言われ、振り返ると、同行の団員でした。この2時間位、ホテルでは、大騒ぎになっていたようでした。

リオでは、労働省から出向している梶田領事から、レクチャーを受けました。それによりますと、ブラジルは今、年率200%を越すインフレに悩まされており、債務も1,000億ドル以上超過しているそうです。85年3月から、長年続いた軍政から民政に変わり、現在はその過渡期だそうです。また失業率は、84年は7.2%、85年は4.8%と減少しているそうです。

インフレが急進するため、労働省の賃金は半年後に給料に反映する法律があり、インフレにスライドして賃金が上がるのだそうです。

ハンス・スターンというブラジル最大の宝石会社を見学しました。イヤホンで日本語の説明を聞きながら、職工が原石を研磨し、見事な宝石に仕上げていく過程を、ガラス越しに見ました。展示室には、美智子妃殿下に、差し上げたという、アクア・マリンの大きな原石が飾っており、見事なものでした。

イグアスの滝に行く途中、摂氏53度という暑さを体験しました。こんなに暑くては、仕事をするのは大変だと思いました。建設中のダムを見学しましたが、ブラジルでは電力が余ってしまったので、今すぐ完成する必要がなくなり、10年先を目ざしてのんびり仕事をしていると聞き、いかにもブラジルらしいと感じました。

世界最大のイグアスの滝は水量は余りありませんでしたが、日本では見た事もないその景観で圧倒され、地球の神秘を感じました。まわりは行けども行けども森林で、聞くとところによると広大なアマゾン森林は、世界の酸素の5分の2を供給しているそうで、砂糖やコーヒーだけでなく、生存の基盤を私達はこの地球の裏側の大国に依存していることを実感しました。

サンパウロでは、我が国のブラジル移民先没者の碑を訪れ、はるか昔の先導者の労苦を偲びました。熊本出身の老人が墓守りをして

いました。大きな規模の朝市があり、さまざまな果物や野菜を売っていました。

帰国後、朝のNHKニュースで、リオの海岸や朝市の様子を放送しているのを見てなつかしく思いました。

自由行動の折り、サンパウロ新聞社を訪問してみました。新聞のファイルを見ますと、「力の勝利おめでとう、管理野球を吹っ飛ばす」という日本シリーズについての小林繁氏の感想や、「君恋し」聞こえますか、というフランク永井氏の記事があり、日本の事がよく紹介されていました。また机の前には「世の中で一番大切な事は……」という福沢諭吉の「心訓」がはってあったのには驚きました。

滞在中、食事は毎日パンと肉で、いつも3食米を食べている私にとっては苦痛の連続で

した。やはり日本食が一番良いと思ったものでした。

今回の旅行では、団長の中西会長が最高齢にもかかわらず一番元気で、クスコでもマチュピチュでも、山の上に先頭に立って登っていました。後に松尾専務に聞きますと、初めは参加者の年齢制限を考えたそうですが、会長は、「私は大丈夫だ。」と言われたとの事です。「来年はアフリカはどうか」と元気な声で言われていました。

二週間ほどの旅でしたが、地球の裏側の国にいろいろ恩恵をこうむっていることを知り、又この国が二十一世紀の国として、これからの世界に大きな存在となることを感じながら帰路につきました。



第4・四半期事業予定

総務委員会

1. 講演会並びに新年賀詞交歓会

日時 昭和61年2月6日(木) PM 2.00

会場 電設工業健保会館

テーマ 今後の婦人労働政策について

講師 労働省婦人局婦人政策課長 松原 亘 子氏

賀詞交歓会 PM 4時30分 会費 5,000円

2. 定例支部会議

日時 昭和61年3月28日(金) PM 2.00

会場 電設工業健保会館

支部会議終了後講演会、懇親会を予定。

3. 会報の発行

第20号 昭和61年1月15日発行

第21号 昭和61年3月31日発行

(第21号の予告)

広報委員会

1. 本号も研修会を主体としていきたい。又賀詞交換会は、1年の始まりの行事で全員参賀を希望する。写真も記事と共に掲載したいので、原稿には2,3枚の写真をお願いしたい。
2. 支部会議は、1ケ年の総締め括りで、色色なことが繰りひろげられていくことと思う。その記事も、写真と共に送ってください。
3. その他、毎号掲載している「随想」を、我と思わん会員諸兄姉の投稿を是非共願
- いしたい。又事業所巡りは、早い遅いはありません。順番に掲載したいので、写真を添付して原稿用紙1枚半位のPR用として、事務局へお送り下さい。もしTELがあれば、出張撮影もやります。
4. その他、会員のための会報ですから、このような記事が欲しいとの要望があったらどしどし事務局までご連絡下さい。紙面の都合で、カットもありますが、よりよい会報にしたいと願っています。

謹 賀 新 年

昭和61年 元旦

広報委員会

広報担当	広報委員長	古川 泰一郎	委員	山下 大九郎
副支部長 永 島 セ ツ	副委員長	清水 誠三郎	〃	森 萩 忠 義
〃 仲 野 三 郎	〃	春 原 厳 光	〃	森 忠 靖
	委員	森 才 一	〃	滝 口 徳 重

あ と が き

古川広報委員長

あけまして、おめでとうございます。

本年も私ども広報委員会に対して、昨年同様のご指導、ご協力を賜われますよう、心からお願い申し上げます。

正月3ケ日は、まれにみる好天気で、みなさまも、それぞれ、心を新たに、一年の計をたてられた事と同慶のいたりでございます。

さて、本年も、お天気の様なおだやかな年ではなさそうです。

ゼロシーリングを基調とした、54兆円余の超緊縮予算、200 円の大台を突破して取引が始まった外国為替市場の状況、さらには経済摩擦の緩和のための、工場の海外進出に伴う、

雇用の減少と第三次産業での雇用の増大等、産業構造転換必至と云われている日本株式会社の青写真等をみるに、われわれ社会保険労務士も一大自己変革して、社会のニーズに合致したサービスの提供をより広い視野で考える時ではないかと思われます。

そのような、視点から、社会保険労務士法の改正を始めとする、業界の足腰の強化、会員相互の団結を一層必要とする年になると思います。

そのためのマスメディアの一環としての会報創りに委員一同邁進する所存であります。

何卒みなさまのご支援を願います。